

H8, H8S, H8SX ファミリ C/C++コンパイラパッケージ V.6.00 Release 03 へのリビジョンアップのお知らせ

以下のH8, H8S, H8SXファミリ用C/C++コンパイラパッケージをV.6.00 Release 02からV.6.00 Release 03にリビジョンアップしました。

製品型名 : R0C40008XSW06R (Windows版)
R0C40008XSS06R (Solaris版)
R0C40008XSH06R (HP-UX版)

1. リビジョンアップ内容

1.1 機能拡張

- (1) High-performance Embedded Workshop (Windows版のみ)
ソースファイルからのインクルードファイルのネストレベルが10レベル以下の場合、インクルードファイルのディレクトリ情報が相対パスでMakeファイルに出力されていましたが、相対パスで出力されるネストレベルを10から50レベル以下へ拡張しました。

注 : 51レベル以上の場合は絶対パスで出力されます。

- (2) 最適化リンケージエディタ
Data_stuffオプションを追加しました。
セクションの境界調整により、コンパイル単位ごとに生じる同一セクション内の空き領域を詰めて、データ領域サイズを削減することができます。

1.2 改修内容

以下の不具合を改修しました。

1.2.1 High-performance Embedded Workshop (Windows版のみ)

- (1) マップ表示機能
 - 。「メモリ」メニューの下に「マップ」コマンドが表示されない不具合。

- 。マップウィンドウに「Linker section setting」メモリマップ情報が表示されない不具合。

(2) バーチャルデスクトップ機能

ウィンドウコンフィグレーションにメモリウィンドウの表示を開始するアドレスを指定すると、誤ったアドレスからメモリウィンドウを表示する不具合。

(3) ソースファイルに日本語のコメントが含まれる場合、Navigationウィンドウからエディタウィンドウに表示されているソースファイルの宣言行または定義行へジャンプすると、実際の宣言行または定義行より後方の行にジャンプすることがある不具合。

(4) ナビゲーション機能が有効になっている状態で、アセンブラで書かれたソースファイルを含むプロジェクトをオープンすると、ナビゲーション機能の自動解析作業が終了しない不具合。詳細は2004年7月16日発行のRENESAS TOOL NEWS "High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い --ナビゲーション機能について--"を参照ください。

(5) ラベルウィンドウの検索機能(*)でラベル名がASCII順で一番最後となるラベルを検索するとLABEL NOT FOUNDのダイアログが表示される不具合。

* ラベルウィンドウ上で右クリックしてポップアップメニューを開き「検索」メニューを選択すると表示されず。

(6) 複数ステップ（ステップ実行を連続して行う機能）を実行途中で中断し、次にプログラムを実行すると、プログラムの停止を手動で実行させるためのツールバーの「停止」ボタンが点灯しなくなり、手動で停止できない場合がある不具合。

また、メニュー「ファイル」→「ワークスペースを閉じる」でワークスペースを閉じる、およびメニュー「ファイル」→「アプリケーションの終了」でアプリケーションを終了するなどのHigh-performance Embedded Workshopの操作ができなくなる場合がある不具合。

詳細は2004年8月16日発行のRENESAS TOOL NEWS「High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い --「複数ステップ」実行の中断について--」を参照ください。

(7) High-performance Embedded Workshopサーバ機能(*)のインタフェースの「ワークスペースファイルを開く」を使用するとアプリケーションエラーが発生する場合がある不具合。High-performance Embedded Workshopサーバ機能の詳細仕様は、以下の「High-performance Embedded Workshop

サーバ説明添付資料」を参照ください。

- (8) ELF/DWARF2フォーマットで作成されたロードモジュールをダウンロードし、ソースウィンドウ上でソースファイルを表示させた場合、プログラムの書かれていない行に対して不正なアドレスが表示されることがある不具合。
詳細は2004年8月16日発行のRENESAS TOOL NEWS "High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い -- ELF/DWARF2ロードモジュールのデバッグ時の不正なソース行アドレス表示について--"を参照ください。
- (9) 以下のダイアログのタブで状況依存ヘルプが表示されない場合がある不具合。
- (a) オプションダイアログの「ビルド」と「エディタ」タブ
 - (b) カスタマイズダイアログの「ツールバー」、「プレースホルダ」、「デバッガ」、「ログ」、および「ヘルプ」タブ
 - (c) デバッグの設定ダイアログの「オプション」タブ

1.2.2 コンパイラ

- (1) ビットフィールドメンバの設定/参照に関する注意事項(H8C-0002)
ビットフィールドメンバをアドレスへ設定、またはアドレスから参照したとき、オブジェクト不正となる場合がある不具合。
詳細はこちらを参照ください。

1.2.3 アセンブラ

- (1) 構造化アセンブリ機能の制御文にサイズ記述なしで分岐サイズを指定した場合、(E)300 ILLEGAL MNEMONICを出力する不具合。
詳細はこちらを参照ください。
- (2) 遅延スロットの命令に1ワード命令以外を記述した場合、(E)150 INVALID DELAY SLOT INSTRUCTIONを出力しない不具合。
詳細はこちらを参照ください。

1.2.4 最適化リンケージエディタ

- (1) リンク時の最適化により、デバッグ情報(行情報)が不正に編集されデバッガ上での表示が不正になる場合がある不具合。
- 発生条件
以下の条件をすべて満たす場合、発生する可能性があります。
 1. コンパイル(アセンブル)時にdebug,goptimizeオプションを指定している。
 2. リンク時の最適化が有効である。
 3. 最適化によって、デバッグ情報の行情報が出力される行の間隔が255行にな

る。

(2) アセンブラが出力したオブジェクトファイルに対して、最適化すべきでないセクションに対して不当に最適化を行ってしまう問題。

。発生条件

以下の条件をすべて満たす場合、発生する可能性があります。

1. ソースファイルに、PCインデックス相対命令(BRA Rn.B/W/L or BSR Rn.B/W/L)がある。
2. 1.のファイルのアセンブル時に、アセンブラのgoptimizeオプションを指定している。
3. 2.のオブジェクトファイルをリンクして、リロケータブルファイルを作成している。
4. 3.のリロケータブルファイルをリンク時に、最適化が有効である。

(3) 共通コード統合最適化を指定して生成したアブソリュートファイルをhelfcnvに入力すると、G2003エラーとなる不具合。

。発生条件

以下の条件をすべて満たす場合、発生する可能性があります。

1. コンパイル時にdebug,goptimizeオプションを指定している。
2. 共通コード統合最適化(optimize=same_code)が有効である。
3. optlnk V.8.00.03以降のバージョンを使用している。

2. リビジョンアップ方法

2.1 R0C40008XSW06R(Windows版)の場合（無償）

オンラインでリビジョンアップできます。

こちらからダウンロードしてください。

2.2 R0C40008XSS06R(Solaris版)または、R0C40008XSH06R(HP-UX版)の場合（無償）

ご注文の際には、以下の情報を最寄りのルネサス販売または特約店までご連絡ください。

製品型名 : R0C40008XSS06R (Solaris版)
または、
R0C40008XSH06R (HP-UX版)

バージョン番号 : V.6.00

リリース番号 : Release 03

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

